

# 7月にトルコでサムスン大会 第23回 夏季デフリンピック開催 日本中で応援しよう!

この7月にトルコのサムスンで、ろう者によるろう者のための国際的なスポーツ大会、第23回夏季デフリンピック [サムスン大会] (主催：国際ろう者スポーツ委員会) が開催されます。この5月には、日本から参加する選手メンバー (本紙7面掲載) や主将・旗手、ウェアが決まり、サムスン市内のあちこちでもデフリン周知の看板が掲示される等、大会に向けた最終調整に入っています。本紙では2人の選手のことやデフリンのこと等を紹介します。



**サムスン大会について**  
トルコでのデフリンピック開催は初で、イスラム教が主流を占める国での国際競技大会は、オリンピックやパラリンピックでも未だ開催していない。大会ロゴマークは、次の5つの意味を表している。①ろう者のコミュニケーション (手の形) ②サムスンのシンボル、雉 (きじ) ③トルコの伝統的なチュリッパの形④オリンピックのシンボルカラー、平和・友情を象徴するオリーブ⑤オリンピックの聖火



夫の憲太郎さんとともに

薬剤師として勤務する早瀬久美選手は、2009年台北デフリンピックの応援がきっかけで自転車競技に挑戦し始めました。自転車競技はコースが毎回変わることがあり、毎回のレースで違う走り方を求められます。早瀬選手はそんな「自分との闘い」の競技の魅力面を、①チーム競技でもあるロー

お、夫も今大会の自転車競技に出場予定。  
4種目とマウンテンレースの2競技全5種目に出場。なお、夫も今大会の自転車競技に出場予定。  
左右ともに感音性難聴120dB。筑波大学附属聾学校幼稚部卒、手話は幼稚部の同級生等との交流を通して自然に身につけた。自転車競技では、ロードレース「スプリント」、タイムトライアル、ロードレース、ポイントレースの

## 主将

**早瀬久美選手**

(40代・横浜市在住)  
手前大会銅メダリスト

自転車競技

**サムスン大会**

- 獲得目標…11競技25個 (金5、銀10、銅10)  
前回実績12競技計21個を超えるメダル獲得を。
- 日本選手団のスローガン…  
世界一の高みをめざして 夢咲かせよう

### 過去4回の大会成績など

大会名	参加国数	日本選手数	日本メダル獲得数
2001 ローマ大会	81	60人	20 (金10、銀5、銅5)
2005 メルボルン大会	66	102人	11 (金3、銀7、銅1)
2009 台北大会	81	154人	20 (金5、銀6、銅9)
2013 ソフィア大会	105	149人	21 (金2、銀10、銅9)



実業団のロードレースに出場

今年4月のロードレースでは落車し、手を骨折するアクシデントも。人生初の骨折でかなり動揺しましたが、家族や監督、仲間のサポートに支えられて立ち直り、現在、リハビリとトレーニングに打ち込んでいます。今度のデフリン自転車競技には女子選手は約30人が出場 (4年前は約10人) する見込みです。早瀬選手は、年齢的にも今大会が日



自然の中をマウンテンバイクで駆け巡り

西選手は小学生からドリブル技術を磨き、高校時は毎日7時間のトレーニングを重ね、試合中は常に状況を確認し、仲間との連携を図るようにしてきました。チームメイトとの会話は主に口話です。身振り等を交えてもらうことも。練習の時などは、監督や選手に一定の距離まで近づいて口話等を見て指示等を受けるようにしています。西選手の課題はディフェンス (守り) です。相手を止めるには仲間との連携が必要で、音声でない合図の形で連携をとることが今後の課題となっています。



西選手

2歳のときに感音性難聴と診断され、聴覚障害2級。3歳時、サッカーをしていた父親の隆文さんの影響でサッカーを始める。中学はプロのジュニアユースに所属し、名門・徳島商業高校でエースナンバー10番を務めた。今年、日本フットボールリーグ (JFL) のヴェルスパ大分に聴覚障害者初の入団。現在、大分県で社会人として一人暮らしを始めたばかり。今回初めてデフリンに出場。日本チームとしての金メダル獲得を目標にしている。

本代表選手としての最後の出場になるかと思っています。「日本代表であることに強い誇りと責任を感じています。メダルを期待されていることで毎日がプレッシャーとの闘いです (苦笑)」。



ボールを蹴る西選手

西選手は「初めての日本代表で緊張しています。いろいろな方のおかげでここまで頑張ることができました。感謝の気持ちを忘れず、精一杯プレーしたいです。個人としても、チームの得点に貢献できるように結果を残したいと思っています」と語りました。日本ろう者サッカー協会

今回、初めて出場するデフリン競技ではJFLの時と違って、補聴器の装着が認められません。このことからプレッシャーも感じています。西選手は「初めての日本代表で緊張しています。いろいろな方のおかげでここまで頑張ることができました。感謝の気持ちを忘れず、精一杯プレーしたいです。個人としても、チームの得点に貢献できるように結果を残したいと思っています」と語りました。

西選手は「初めての日本代表で緊張しています。いろいろな方のおかげでここまで頑張ることができました。感謝の気持ちを忘れず、精一杯プレーしたいです。個人としても、チームの得点に貢献できるように結果を残したいと思っています」と語りました。

本代表選手としての最後の出場になるかと思っています。「日本代表であることに強い誇りと責任を感じています。メダルを期待されていることで毎日がプレッシャーとの闘いです (苦笑)」。



公式フェイスタオルのデザイン

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会は今年度のサムスン大会にかかる資金作りのため、公式ピンズとフェイスタオルを販売しています。

「一聞こえない選手にはフルに頭を使いながらの状況判断や視覚的に情報を得ようとするための察知能力が求められています。相手よりも先に動けるかを追求する能力は、一般のスポーツに変わらないほど進化してきていると思います」と語りました。

選手やスタッフの負担が大きくなる現状があります。ろう者の選手がスポー

選手は「初めての日本代表で緊張しています。いろいろな方のおかげでここまで頑張ることができました。感謝の気持ちを忘れず、精一杯プレーしたいです。個人としても、チームの得点に貢献できるように結果を残したいと思っています」と語りました。

日本選手団オリジナルウェアをまとめて公表する日本選手団代表。左から全日本ろうあ連盟の山根昭治スポーツ委員長、栗野達人日本選手団総監督、倉野直紀同委員会事務局長

日本選手団オリジナルウェアをまとめて公表する日本選手団代表。左から全日本ろうあ連盟の山根昭治スポーツ委員長、栗野達人日本選手団総監督、倉野直紀同委員会事務局長

日本選手団オリジナルウェアも決定

選手は「初めての日本代表で緊張しています。いろいろな方のおかげでここまで頑張ることができました。感謝の気持ちを忘れず、精一杯プレーしたいです。個人としても、チームの得点に貢献できるように結果を残したいと思っています」と語りました。

選手は「初めての日本代表で緊張しています。いろいろな方のおかげでここまで頑張ることができました。感謝の気持ちを忘れず、精一杯プレーしたいです。個人としても、チームの得点に貢献できるように結果を残したいと思っています」と語りました。

## 選手の派遣経費について

(公財) 日本障害者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会を通してスポーツ庁から派遣のための国庫補助金を頂いています。その上で、オリンピックやパラリンピックと同様、総額の3分の1を各競技団体 (選手・スタッフ) が負担しています。ただ、デフリンピックは知名度が低いためスポンサーや周囲からのサポートが得られにくく、選手やスタッフの負担が大きくなる現状があります。ろう者の選手がスポー

そんな現在、「障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟」が「デフリンピック支援ワーキングチーム」を作る計画が浮上しています。

サムスン大会に関する様々な情報は左記URLでご覧いただけます。  
http://www.jfd.or.jp/sc/samsun2017/

お問い合わせ先は最寄りの加盟団体か、連盟本部事務所  
【FAX】03-3267-3445まで。  
【公式フェイスタオル】1枚…1200円(税込)。※2色セット「赤白各1枚」…2200円(税込)。※送料…実費(21枚以上無料)。【公式ピンズ】1個…500円(税込)。※送料…実費(51個以上無料)。